

手賀沼公園(周辺地区を含む)の整備と魅力向上

我孫子市のシンボル手賀沼は当市の貴重な資源です。これまで(第三次総合計画)の将来都市像「手賀沼のほとり ころろ輝くまち～人・鳥・文化のハーモニー」も、現在(第四次総合計画)の将来都市像「未来につなぐ 心やすらぐ 水辺のまち 我・孫・子」も、どちらも手賀沼をまちづくりの中心に位置づけています。しかし、まちのシンボルにしては、まだまだ基本的な整備ができていないのが現状ではないでしょうか。

今後、自然環境を守り育てながら、手賀沼の魅力を磨き手賀沼を活かしたまちづくりができるように、今回は手賀沼公園とその周辺的环境整備、そして魅力を高める方策について質問させていただきます。

(1)手賀沼遊歩道再整備事業

手賀沼の遊歩道の整備については、市民から様々な声をいただきます。手賀沼の豊かな自然に触れることのできる遊歩道は癒しの空間であり、多くの方が散策を楽しんでいます。

しかし、遊歩道については、最近議会でも指摘されているように、いろいろな課題があり、今年度は手賀沼遊歩道再整備事業として680万9千円の予算措置がされています。

ア.手賀沼遊歩道護岸工事

今年度、手賀沼親水広場前の遊歩道で、波の影響等で洗掘されている約200mの区間の護岸修繕工事の詳細設計を行います。護岸工事完了までのスケジュールをお聞かせください。

また、今回の区間以外の護岸工事の修繕計画と今後のスケジュールをお聞かせください。

イ. つつじの褐斑病対策

手賀沼遊歩道のつつじは褐斑病の蔓延で樹勢が衰えています。昨年、褐斑病対策として木酢液の散布を試行し、今年度本格実施となりました。昨年の検証結果と今後の褐斑病対策についてのお考えをお聞かせください。

ウ. 手賀沼遊歩道舗装修繕工事

今年度は利用者の安全性を確保するため、経年により傷んだ路面や樹木の根により隆起した路面の舗装修繕工事を5カ所行う予定となっています。今年度の工事個所と選定理由をお聞かせください。

また、手賀沼遊歩道舗装修繕工事の全体計画と今年度までの進捗状況についてもお聞かせください。

(2)手賀沼遊歩道周辺の整備

遊歩道を歩いていると素晴らしい手賀沼の景観を台無しにしている問題や整備が必要だと思われる案件が目に入ります。手賀沼遊歩道周辺の整備について何点がお尋ねします。

ア. 湖面に放置されている転覆したボート

遊歩道近くの湖面に、転覆したボートが浮いています。撤去をお願いしたところ、手賀沼の水面の管轄は千葉県の柏土木事務所であり、市で勝手に撤去することはできないとのことでしたが、公園緑地課が転覆しているボートの写真を撮って、柏土木事務所に連絡してくれたとのことですが、その後の状況をお聞かせください。

イ. 劣化した案内表示板

遊歩道には、劣化した木製の案内表示板が数カ所設置されていまし

た。担当課にお話したところ、順次撤去し、必要があれば新しいものに交換するとのことでしたが、その後の取組状況をお聞かせください。

ウ. 朽ちた栈橋

手賀沼遊歩道脇に、使用していない朽ちた栈橋があります。この栈橋はどのような目的で誰がつくったのか、また、今後、使用する可能性はあるのか、朽ちた栈橋については、市として今後どのように対処しようとしているのか、お聞かせください。

エ. 遊歩道脇の荒地

遊歩道を手賀沼親水広場から 5 本松公園方向に歩いていくと、遊歩道の左手に草に覆われた荒地があります。

県有地だともいわれていますが、適切な管理が必要だと思います。市としての対応をお聞かせください。

オ. 水生植物園

遊歩道の近くに水生植物園があります。現在でも水生植物園という標識がたっていますが、以前に比べ規模が大幅に縮小されています。

高野山新田地区土地利用構想では、水生植物園と高野山ふれあい市民農園跡地周辺は、大部分が農用地区域のため、農地としての活用を基本とし“憩いのエリア”として、手賀沼沿いの自然を活かした景観形成ゾーンづくりを進め、交流人口拡大につなげていく方針となっていますが、今後、水生植物園をどのようにしていくのか、市のお考えをお聞かせください。

(3)手賀沼公園に新しい遊具の設置

最近、柏ふるさと公園に新しい遊具が設置され、休日には親子ずれで賑わっているとの情報を受けて現地に行ってきました。面白そうな遊具がたくさん設置され、子どもたちが楽しそうに遊んでいました。

我孫子市では、観光振興策として手賀沼周遊レンタサイクルと手賀沼公園ミニ鉄道の通年運営の検討を始めるそうですが、我孫子のシンボル手賀沼が子育て世代により一層魅力的な場所になるように手賀沼公園に新しい遊具の設置を検討していただきたいと思います。

なお、この提案は通常の公園の整備という観点ではなく、子育て世代が「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」になるよう、我孫子のシンボル手賀沼の魅力を磨くひとつの方策として(令和4年度から第四次総合計画に一本化された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の人口減少の抑制と地域の活性化に取り組む観点で)お考えいただき、ご答弁をお願いします。

(4)農産物直売場アンテナショップ跡地活用事業のその後の状況

地域の魅力を高める要素の一つに美味しいものが食べられるお店の存在があります。公園坂通りに5月16日にオープンした飲食店の複合施設 ABISON SUGAR GARDEN が、今、まちの話題となっています。なかでもそこで販売されているアップルパイは、直ぐに売り切れ、なかなか手に入らないと評判になっています。

これから公園坂通りの暫定整備もはじまります。我孫子のシンボル手賀沼を中心とした地域の賑わいづくりのために、アンテナショップ跡地の活用は大変重要な事業だと考えています。

跡地活用事業者の辞退を受け、今後は、改めて跡地の活用の方法や条件などについて、関係各課と再検討を行い、新たな活用事業者の選

考に向けて進めていく予定だと伺っていますが、現在の進捗状況をお聞かせください。また、跡地の活用方法や条件、新たな活用事業者の選考スケジュールについてもお聞かせください。

(5)手賀沼・手賀川活用推進協議会の活動

協議会は「広域的な連携により、手賀沼・手賀川や周辺の豊かな水と緑の空間とこの地域に所在する様々な資源を活用し、地域の魅力向上や交流人口の拡大、地域産業の活性化を図る魅力あるまちづくりをさらに推進することを目的に 2011 年 11 月に設立されました。

この間、2015 年に「つながるウォーターサイド TEGA」(報告書)が策定され、2017 年には「手賀沼・手賀川推進のためのアクションプラン」が策定されましたが、最近協議会の活動が見えてきません。

これまでの協議会活動は、目的としている魅力あるまちづくりの推進にどのような貢献があったのか、また、リーディングプロジェクトに関連する事業やアクションプランで期待されていた計画や事業の進捗状況や課題、今後予定されている協議会活動について、お聞かせください。